

# ふるさとふちゅう

## 【第26回】府中町で体験、四国お遍路(11) 道隆寺(9)〜赤羽根新四国八十八カ所1〜

# 再発見

江戸時代には各地に四国遍路の縮小版の新四国や移し遍路と呼ばれる石仏群が建立されました。四国の札所と同じ本尊の石仏を巡拝し、四国遍路と同様の御利益を得ようというものです。道隆寺の赤羽根新四国八十八カ所もその一つで、道隆寺第11世智空上人が文化14(1817)年に建立しました。第1番霊山寺と第2番極楽寺は道



隆寺境内、第3番金泉寺からは呉娑々宇山への登山道下の墓地・雑木林に点在しています。各地の新四国の多くは道に沿って札所順に配置されていますが、道隆寺では、山腹の斜面に幅広く配置されています。巡拝者には詳細な分布図が道隆寺でもらえます。第87番長尾寺を終え、家々を下に見ながら小道を下り、途中石造の道標で左折すると最後の第88番大窪寺です。

石仏には札所番号や寺院名、本尊名、寄進者名などが彫られています。長年の劣化で読みにくくなっています。昭和51(1976)年に安芸中学校(現温品中学校・福木中学校)の社会部が調査した記録があります。この中に年代が刻まれ建立の経緯が分かる石仏が4体あります。第1番霊山寺に「文化十四歳次丑春三月廿一日、依御免許、造立焉」と

あり、文化14年の3月21日に藩の許可を得て、建立が始まったことが分かります。第14番常楽寺には「文化十四年丑八月」とあり、最後の第88番大窪寺は「文化丁丑初冬、石仏建立畢」となっています。初冬は陰暦の10月頃なので8か月で完成です。第15番国分寺には「新山主未歳僧」とあります。新山主は新しい住職で、道隆寺の「代々住持」では12世住職は勝然法印です。直近の未歳は文化8年です。智空上人は新四国八十八カ所が建立された時は61歳で、新住職の後見として尽力したのでしょうか。

石仏は、毎年11月23日に地元の有志の手で新しい赤い前掛けに掛け換えられます。これを「前掛け換え巡拝」と呼んでいます。

府中町文化財保護審議会委員  
菅 信博

パッとカンタン!

## 朝パッ君のかんたんレシピ

節分のあとにぜひ作ってみてね♪



### 手が止まらなくなる美味しさ! おやこ豆



#### 材料

- ・いり大豆：40g
- ・砂糖：大さじ1と1/2
- ・水：大さじ1/2
- ・きなこ：大さじ1強

#### 作り方

- ① フライパンに砂糖と水を入れて火にかけ、沸騰したら中火で約1分間加熱する。
- ② 火を止め、大豆ときなこを入れ手早く混ぜる。

☎ 朝パッ君ネットワーク (事務局：健康推進課) ☎286-3257